

弓達 秀樹 議員

(一問一答方式)



- ①今後の市政運営について
- ②包括的性教育について

「賢く縮む」スマートシルリンクという考え方について

問 高知県では、集合、伸長、縮小、創造の4つの視点を基としたスマートシルリンクが進められている。これからの大洲市にとって必要な取組であると考えるが、理事者の見解を伺いたい。

答 スマートシルリンクは、公共施設やインフラの集約、交通や医療サービスの再配置、コンパクトなまちづくりなど、人口減少を前提として中心部や周辺部の構造を再編し、地域を効率的かつ持続可能な形に再構築しようとする取組で、実施に当たっては、財政状況を踏まえた戦略的な選択と集中が必要になると考えています。一方で、コンパクトシティといった都市機能の集約化については、周辺部では医療、買物など、日常生活に欠かすことのできないサービスの利用が困難になるなど、地域間に格差が生じ、市民生活に大きな影響を及ぼす懸念もあります。地理的な広がりや、高齢者の割合が高い地域などにおいては、施策の進め方によっては新たな課題が顕在化する可能性もあります。

したがって、スマートシルリンクの考え方を市全体のまちづくりに適用することは、その有効性や実現可能性を慎重に検討すべきと考えていますが、適用することで大きなメリットが得られる分野においては、市民生活への影響を十分に考慮したうえで、市民の皆様との丁寧な議論と合意形成を深めながら取り組んでいく必要があると考えています。

情報プッシュ型自治体アプリについて

問 市民に積極的に情報提供する手法として、今後はプッシュ型が主流になると考える。公式LINEを利用したプッシュ型の情報発信に対する今後の方針を伺いたい。

答 大洲市公式LINEアカウントでは、防災やイベ

ントなどの情報を1月当たり平均12件程度発信しており、登録者が受け取りたい情報として、暮らしの情報や防災、防犯、観光物産など、選択された区分に応じてプッシュ型で情報を発信しています。

現在、市からの情報を市民の皆様へ確実に届ける手段として、専用のアプリを導入するのがいいのか、またはLINEのように普及したサービスを活用するほうがいいのか、それぞれの長所、短所を踏まえ、研究を行っています。今後、オンラインで完結する手続がさらに増加した際に、利用される方が迷うことなく、その情報や手続にアクセスできる最適な方法について、費用対効果も含めしっかりと検討していきたいと考えています。

なお、当面は公式LINEでの情報発信を積極的に活用することとしており、登録者数を増やす工夫が重要であるとの認識の下、毎月印刷発行している広報おおずや、市民の方が参加される会議での配付資料の空きスペースなどを活用してPRを行っています。

包括的性教育の必要性について

問 ジェンダー平等や性の多様性、からだの権利など、人権尊重を基盤に、幅広く子供の年齢、発達に応じて伝え方などを工夫し、継続的、重層的に性を学んでいく包括的性教育の必要性についてどのように考えているのか。

答 包括的性教育は、児童生徒が将来を見据え、適切で健康的な選択をするための知識、理解、技能、態度、価値観を身につけることを目的としたカリキュラムに基づく性教育の指導法と捉えることができます。

道徳的価値を含めた性教育の推進を考える理念は児童生徒の成育過程において重要であると認識しており、道徳的な見地から教材の内容を広げていくことは大変意義があると考えています。

しかしながら、現在の教育課程編成や、限られた授業時数等を鑑みると、全てのコンセプトを満たすことは難しく、学校判断となる教育課程の編成が確立していることから、持続可能な指導法であるかを含めて今後研究や検証が必要と考えています。